

◆「LRRI メルマガ」 2023 年 8 月号◆

★ホームページのトップページの写真を更新しました。

年度が改たまりましたので、ホームページのトップページの写真を下記のように更新しましたのでご確認ください。

LRRI は、令和 5 年 7 月 1 日で、設立後、4 年目に入りました



引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします

★「役員 & 会員だより」令和 5 年 8 月号をお届けします (PDF 添付)

8 月号は、霜越監事が執筆しました。タイトルは、「日本の車文化」です。同監事の車への強い思いが伝わってきます。是非ご一読ください。

★「土木技術資料」(令和 5 年 8 月号)が届いています

土木技術資料 8 月号の目次をご案内致します。以下の URL から抄録がご覧になれます。

<https://www.pwrc.or.jp/wnew2308.html#mokuji>

了戒公利会員が著者の一人になっている「耐候性大型土の屋外曝露試験による耐候性の調査結果～「耐候性大型土の積層工法」設計・施工マニュアル第 2 回改訂版～」(PDF 添付)が掲載されています。本工法の設計・施工第 2 回マニュアル改訂委員会では、安原代表理事が委員長、常田顧問と末次顧問が委員を務めました。

★令和5年度総会&交流会を開催します(再掲)

来る9月1日(月)に令和5年度総会&交流会を開催する予定です。交流会のプログラム概要は下記の通りですが、詳細は、近日中にHPに掲載するとともに、会員の皆さまには、別途ご案内いたします。交流会はオープン参加(非会員の参加も可)とします。

～LRRRI交流会のご案内～

◆趣旨/目的

- ・新入会員のご紹介
- ・会員の所有する技術や手法、及び、知見の交流

◆日時：2022年9月1日(金) (14:40-16:30) (総会後)

◆方法：オンライン(Zoom) (URLは、ご参加の方に後日ご連絡いたします。)

◆新入会員のご紹介と技術交流(110分)

<総司会> (理事 伴 夏男)

1. 開会挨拶と新入会員様のご紹介(代表理事 安原一哉) (15分)

- ・(賛助会員)：(株)福山コンサルタントさま・(一社)GLOSS研究会さま
- ・(個人会員)：小林 諒さま・森 修一さま・常田 賢一さま・末次 忠司さま
- ・(協力会員)：浅田 寛喜さま

2. 技術交流：脱炭素社会の構築、地域と国土の強靱化に向けて“LRRRIに期待すること、できること”

・趣旨説明：代表理事 安原 一哉 (70分=10分+15分×4)

・トピック1：「リスク決定要因の対応(Response)について考える」山田 岳峰 会員

・トピック2：「興味があり、実現を期待していること-LRRRIができることの参考-」常田 賢一 顧問

・トピック3：「サステナブル経営として強靱化を考える」

(株)福山コンサルタント 福島 宏治 代表取締役 会長

・トピック4：「CREST2023へのLRRRIの貢献」安原 一哉 代表理事

3. 総合討論(コーディネータ 代表理事 安原 一哉) (20分)

4. 交流会 閉会の辞(副代表理事 岸田 隆夫) (5分)

プログラムは上記を予定しております。URL・発表資料は後日、ご参加の方に配信いたします。

ご参加の方は、<別紙>にご記入の上、**8/25(金)までを目処**に、事務局(staff@lrrri.or.jp)までお申込みください。

以上

<別紙>

令和5年度 LRR I 交流会へのご参加申込み用紙

◆ご所属：

◆お申込み者ご氏名：

下記のとおり、オンラインでの参加を申込みます。

ご参加者 代表ご氏名			
事業所名			
住 所	〒		
部署お役職		ご担当者	お申込み者と異なる場合
電 話		FAX	
E-mail			
会員、 非会員別	・会員（1. 特別賛助会員、2. 賛助会員、3. 個人会員、4. 協力会員） ・非会員（会員申請予定の方、または、会員申請中の方） ・非会員		

同一の企業（組織）からご参加される方は、お名前を下記にご記載ください。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※個々のアドレスからご参加の場合は、お名前とそのアドレスを併記ください。

別々の用紙で申込む必要はございません。

【お送り先・お問合せ先】事務局（staff@lrr i.or.jp） 担当：岸田隆夫・米川恭子

★CREST 2023 で WORKSHOP に参加します

先にご案内しましたように、本年 11 月予定の下記国際会議に LRRI として参加致します。

第2回 環境に配慮した持続可能な建設技術に関する国際会議
2nd International Conference on Construction Resources for Environmentally Sustainable Technologies

CREST 2023 | 2023年11月20-22日
福岡国際会議場

主催
九州大学

共催
英国ケンブリッジ大学
公益社団法人土木学会
公益社団法人地盤工学会
公益社団法人 日本地すべり学会
国際地盤工学会 技術委員会 No. 307 (TC307)
国際地盤工学会 アジア地域技術委員会 (AsRTC 1)
国際地盤工学会 アジア地域技術委員会 (AsRTC 3)
国際圧入学会 (IPA)
一般社団法人GLOSS研究会

後援
国土交通省九州地方整備局
福岡県
福岡市
在大阪・神戸インド総領事館
公益社団法人地盤工学会九州支部
公益財団法人日本材料学会
一般社団法人日本建設業連合会
一般社団法人建設コンサルタンツ協会
一般社団法人全国地質調査業協会連合会
NPO法人廃棄物地盤工学研究会
特定非営利活動法人応用斜面工学研究会
一般社団法人地域国土強靱化研究所

SDGsへの取り組み





出版社

九州大学
UNIVERSITY OF CAMBRIDGE
JSCE
LANDSLIDE SOCIETY JAPAN
SIMSO ISSAGE
IPA PRESS-IN
九州大学
UNIVERSITY OF CAMBRIDGE
JSCE
LANDSLIDE SOCIETY JAPAN
SIMSO ISSAGE
IPA PRESS-IN

9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE
11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES
13 CLIMATE ACTION
17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

Springer
ice Publishing
Routledge Taylor & Francis Group

LRRI の役割は、WORKSHHP（11月20日）に下記の課題と内容でプレゼンテーションを行うことが要請されています。

Outline of CREST 2023 Workshop Chaired by Dr. Atsushi Numata, Tobishima Corporation, Co. Ltd. （議長 飛島建設(株) 沼田敦紀博士）	
<p>◆Title（タイトル）：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Practices for Sustainable and Resilient Geotechnology • （持続可能な強靱な地盤技術） <p>◆Participants（参加機関）：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Local Resilience Research Institute (LRRI) (LRRI) • Research Society of Wood Utilization in Fukui • （福井木材利用研究会） • Tobishima Corporation • （飛島建設(株)） 	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能で強靱な社会構築を目指した、気候変動適応策と緩和策に関する地盤技術について議論します。 <p>(1)地盤工学における気候変動適応策</p> <p>(2)地盤工学での特に木材を主にした自然資源や産業副産物の利用</p> <p>(3)適応策と緩和策技術の相乗効果の可能性</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;">     </div>

<LRRI 活動紹介のためのプレゼンテーション概要>

Content of the Presentation

- ◆What is LRRI? (LRRIって何?)
- ◆Activities of LRRI (活動内容)
- ◆ How Should We at LRRI Cope with Climatic Hazards? (LRRIは気候ハザードのどう立ち向かうか?)
- ◆LRRI's Technologies for Climate Change Responses (気候変動対応のためのLRRI関連技術)
- ◆Future Prospect for Climate Change and SDGs in LRRI (気候変動とSDGs対応の将来展望)